

【医療情報】新型コロナウイルス関連情報（3月22日現在）

●保健省によれば、アルゼンチン国内では266名（昨日から41名増加）の累計感染者数、うち4名の累計死亡者数が報告されています。

●20日以降3月31日まで、当国に居住、または短期的に滞在している者を対象とした、全国隔離措置 DNU（297/2020）が継続中です。

●最新情報を入手し、感染予防に努めるとともに、万が一当局に拘束、隔離等され援護が必要な場合又は邦人が拘束、隔離等されているとの情報をお持ちの場合は、在アルゼンチン日本国大使館までご連絡下さい。

●アルゼンチン政府による全国隔離措置を踏まえ、25日以降は大使館の体制を縮小しますが、帰国のための空港移動に際し必要となる領事レター作成等の業務や相談は電話やメール等で逐次受け付けております。正常体制再開時期については、本メールにてご案内します。

1 アルゼンチン国内では266名（昨日から41名増加）の累計感染者数、うち4名の累計死亡者数が報告されています。

2 20日に公布された全国隔離措置に関する必要緊急大統領令（DNU）が継続中です。当該措置は、当国に居住している者、または短期的に滞在している者に対し、「社会的、予防的、強制的隔離（以下、強制隔離と表記）」を設定し、期間は3月20日から31日までとされています（延長される可能性があります）。

この期間中は、通常の居所あるいは3月20日0時時点での居所に留まらなければなりませんませんが、清掃用品、医薬品、食料の購入のための必要最小限の外出をすることは可能です。治安省により取り締まりが実施されており、違反した場合は、拘束され、告訴される可能性がありますのでご注意ください。

3 強制隔離関連情報（一般報道）

（1）エセイサ空港閉鎖の可能性

22日、ソラー外務大臣は、ラジオ・ミトレの番組において、新型コロナウイルスの感染を最小限に留めるとの政府方針の一環として、これ以上の人間の入国を避けるため、来週、エセイサ国際空港（首都近郊の当国最大の国際空港）を閉鎖することになるかもしれないと述べています。閉鎖の時期は明確にはなっていません。また、空港閉鎖は、新型コロナウイルス対策に係る措置の一つとして、フェルナンデス大統領が実際に検討しているとも報じられています。

（2）アルゼンチンへの全渡航者に対する強制隔離措置適用

22日、ゴンサレス・ガルシア保健大臣は、（これまで指定感染地からの渡航者のみに適用されていた）14日間の強制隔離措置を、全ての渡航者に適用すると述べていま

す。(※当館注：現時点で、この発言を裏付ける省令は発出されていません)。

4 最新情報を入手するとともに、マスクの着用、手洗いやうがいの励行など、感染予防に努めてください。

5 万が一当局に拘束、隔離等され援護が必要な場合又は邦人が拘束、隔離されている等の情報をお持ちの場合は、在アルゼンチン日本国大使館までご連絡下さい。

6 アルゼンチン政府による全国隔離措置を踏まえ、25日以降は大使館の体制を縮小しますが、帰国のための空港移動に際し必要となる領事レター作成等の業務や相談は電話やメール等で逐次受け付けております。正常体制再開時期については、本メールにてご案内します。(以上)